

第 24 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
<課題曲に関する注意事項> 必ずお読みください (2 ページあります)

■全部門共通 注意事項

①使用楽譜の版は問わない。

※ただし、ワルツ Op.69-1、Op.69-2、Op.70-1、Op.70-2 を選択する場合、パデレフスキ版を使用する際は BIS でない方を、ヘンレ版を使用する際は Fontana 版を選択することを推奨する。また、エキエル版を使用する際は、パデレフスキ版の BIS でない方、あるいはヘンレ版の Fontana 版と同じ繰り返しをすることを推奨する。

※ただし、一部の楽曲はエキエル版を選択することを推奨する (ソロアーティスト部門・コンチェルト C 部門・ショパニスト各部門が該当。詳細は各部門の課題曲欄を参照すること)。

②すべて暗譜で演奏すること (ショパニスト S 部門を除く)。

③「任意の独奏曲」で複数曲を選択する場合、上限は 3 曲とする。なお、課題曲コード 1 つで 1 曲とみなすので注意すること。

④各グループ (A,B,C) 内で複数曲演奏する際は、申込時に演奏する順で登録すること。

⑤同じ作品番号内では、作品番号が若い順に演奏すること。また、ソナタは楽章が若い順に演奏すること。

※ただし、ショパニスト各部門においてはこの規定に従わなくてもよしとする。

例) 可 : Op.24-1→Op.24-3 / Op.24-1→Op.18 / Op.35-1 楽章→Op.35-4 楽章

不可 : Op.24-3→Op.24-1 / Op.35-4 楽章→Op.35-1 楽章

⑥課題曲ページに特別指定のある場合以外は、原則としてダ・カーポ以外の繰り返しは全て省略すること。

⑦コンクールの進行上、やむを得ず演奏を一部カットして審査する場合があるが、カットが行われた場合も審査への影響はない。

⑧小学生などでオクターブが届かない場合は、省略・分散和音にして演奏しても構わない。

⑨各大会の申込時に一度登録した課題曲は変更できない。

⑩幼児部門では、ペダルの使用は認めない。足台の使用は可。

⑪オンライン審査のための動画撮影ルール・ガイドライン等は、追って発表致します。

⑫上記各項目の他、各部門に規定された演奏時間との著しい過不足、カット指定の無視、申請した曲順と異なる曲順での演奏、バッハの平均律をプレリュードから演奏した場合等、本開催要項の定めとの違反がある場合、減点・失格となる場合があるので十分に注意すること。

その他、課題曲に関しての「よくあるご質問」は、随時ウェブサイトへ掲載致します。

■「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22」について

規定時間に制約がある場合、ポロネーズのみの演奏も可。その場合は必ず Allegro Molto より演奏を開始すること。申し込む際も、ポロネーズのみの課題曲コード【C104】を選択すること。

■コンチェルト I・AA・AB・B・C 部門、ショパニストコンチェルト A 部門 注意事項

全国大会・アジア大会の詳細について現在検討中のため、伴奏者手配の有無、リハーサル、アジア大会での伴奏形式等については、追って発表致します。

■カットの指定について

指示のある部門のみ、以下のカット指定を行うこと。また、指定された部分以外のカットは認めない。

●ショパン：スケルツォ第 1 番 口短調 Op.20 ⇒第 1 括弧をカット。第 125～240 小節をカット	
●ショパン：スケルツォ第 2 番 変口短調 Op.31 ⇒第 133～264 小節をカット	
中学生・高校生部門 ショパニスト A・S 部門	地区・全国・アジア大会全てにおいて、カット有りて演奏すること。
ショパニストコンチェルト A 部門	地区大会において、カット有りて演奏すること。
大学生・ソロアーティスト・ ショパニスト B 部門	カット無し (ただし第 1 括弧は省略) で演奏すること。

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第1楽章（伴奏のみカット）

⇒前奏は第130小節までカット、第131小節より演奏

⇒第333小節の第1拍だけを弾き、2拍休符、その後第376小節までカット、続いて第377小節から演奏

⇒第486小節の第1拍だけを弾き、続けて第505小節の第2拍に続ける

⇒第671小節の代わりに第687小節から演奏し、終わる

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第2楽章（伴奏のみカット）

⇒前奏は第6～10小節をカット

●ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21 第1楽章（伴奏のみカット）

⇒第58小節までカット、第59小節より演奏

⇒第181小節の最初の音のみ弾き、その小節は休符、その後第200小節までカット、続いて第201小節から演奏

⇒第337小節の代わりに第347小節から演奏し、終わる

コンチェルトB・C部門

ショパニストコンチェルトA部門

上記の指定伴奏部分を、全国大会・アジア大会においてカットすること。

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第1楽章（独奏版）

⇒前奏は第130小節までカット、第131小節より演奏

⇒第333小節の第1拍だけを弾き、2拍休符、その後第376小節までカット、続いて第377小節から演奏

⇒第486小節の第1拍だけを弾き、続けて第505小節の第2拍に続ける

⇒第671小節の第1拍だけを弾き2拍休符、続けて688小節から演奏し終わる。

●ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op.21 第1楽章（独奏版）

⇒第58小節までカット、第59小節より演奏

⇒第181小節の最初の音のみ弾き、その小節は休符、その後第200小節までカット、続いて第201小節から演奏

⇒第337小節の第1拍だけを弾き、1拍休符、続けて347小節3拍から演奏し終わる。

ショパニストB部門

（ピアノ独奏版を選択した場合）

上記の指定伴奏部分を、地区・全国・アジア大会すべてにおいて、カット有りて演奏すること。

●ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11 第2楽章（独奏版）

⇒前奏は第6～10小節をカット

ショパニストA・B・S部門

（ピアノ独奏版を選択した場合）

上記の指定伴奏部分を、地区・全国・アジア大会すべてにおいて、カット有りて演奏すること。

ショパニストコンチェルトA部門

（地区大会でピアノ独奏版を選択した場合）

上記の指定伴奏部分を、地区大会においてカットすること。

●グレッキ：若きショパン風ピアノ協奏曲 第1番（伴奏のみカット） ⇒第17小節から演奏

●グレッキ：若きショパン風ピアノ協奏曲 第2番（伴奏のみカット） ⇒第7小節から演奏

●グレッキ：古典風ピアノ協奏曲（伴奏のみカット） ⇒第29小節2拍目のアウフタクトから演奏

●グレッキ：バロック風ピアノ協奏曲（伴奏のみカット） ⇒第6小節から演奏

●イスマギロフ：ピアノとオーケストラのための小協奏曲（伴奏のみカット） ⇒第15小節から演奏

コンチェルトAB部門

ショパニストコンチェルトA部門

上記の指定伴奏部分を、全国大会・アジア大会においてカットすること。